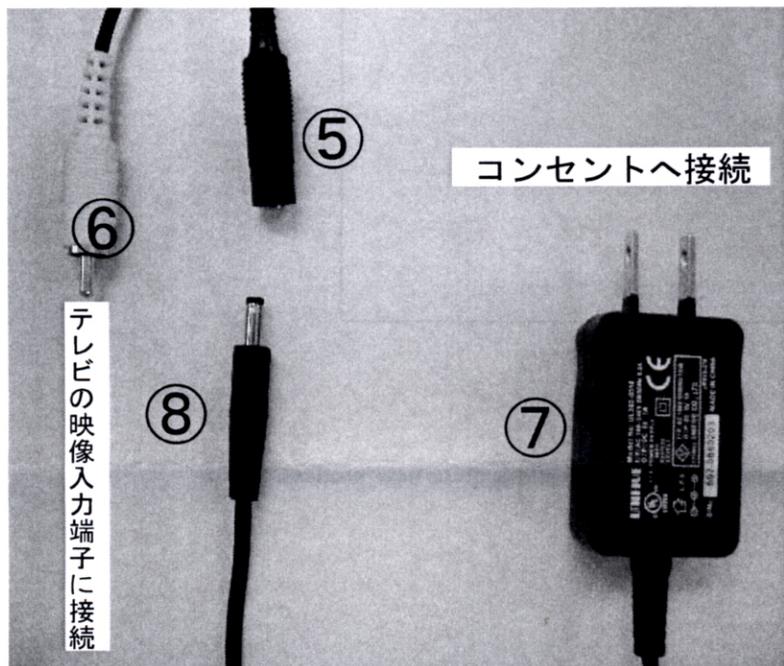


**B**SCAN

## Bscanの構成と組み立て手順



- ① B s c a n 本体
- ② 電源・映像端子接続ケーブル
- ③ 観察ガラス面保護キャップ
- ④ 携帯用ポシェット
- ⑤ 電源接続端子A
- ⑥ 映像接続端子
- ⑦ AC・DCアダプタ
- ⑧ 電源接続端子B
- ⑨ オイル差し



### 【組み立て手順】

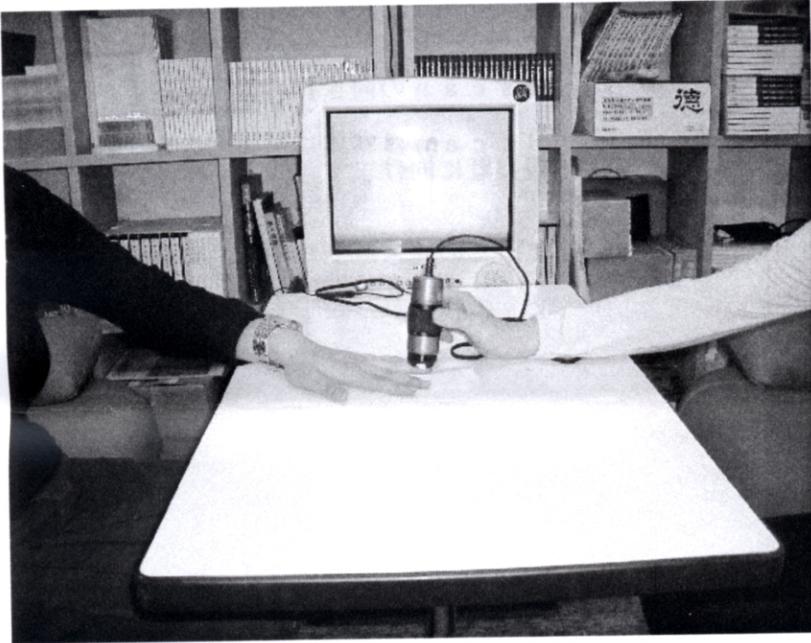
1. ③の保護キャップをはずします。
2. ⑥の映像接続端子をテレビの映像入力端子に接続します。
3. ⑤⑧を接続します。
4. ⑦をコンセント（交流100V）に接続します。

- ※1. ⑨のオイルは、市販のオリーブ油などをご利用下さい。
- ※2. ⑤⑥⑦⑧を引き抜く時は、必ず本体を持ってください。（ケーブルをもって引き抜くと内部断線など故障の原因となります。）



**電源接続端子A・Bは共通規格部品です。**  
**あやまって他の電気製品のAC・DCアダプタを接続すると、加熱や故障の原因となります。**※小型モニターなどは、差し込みが同規格のものが多く見られますので、特にご注意下さい。

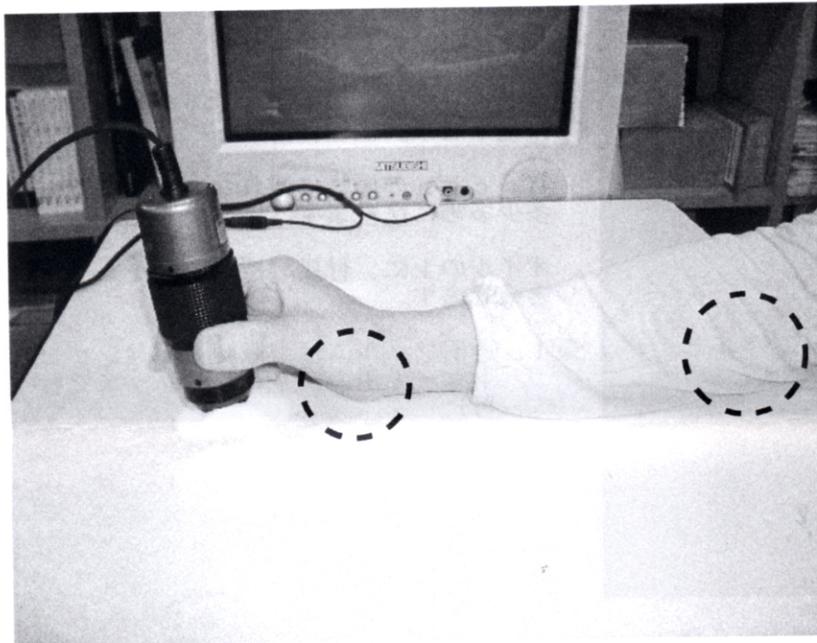
## 観察台とBscanの持ち方



### 【テーブル】

テーブルはひじ（肘）の高さくらいで、安定してゆれの無いものを使用します。

観察者は被験者と向かい合います。



### 【Bscanの持ち方】

観察者はBscanを軽く指でつまむ様に持ちます。

肘から手の側面までをテーブルに付けます。

- ※1. Bscanを強く握るとかえってブレてしまいます。
- ※2. Bscanを指先に強く押しつけると、正しい血流が観察できません。



感覚的には、本体を持つ（握る）のではなく、被験者の指の上に乗せたBscanを軽く指でつまんで支える感じです。

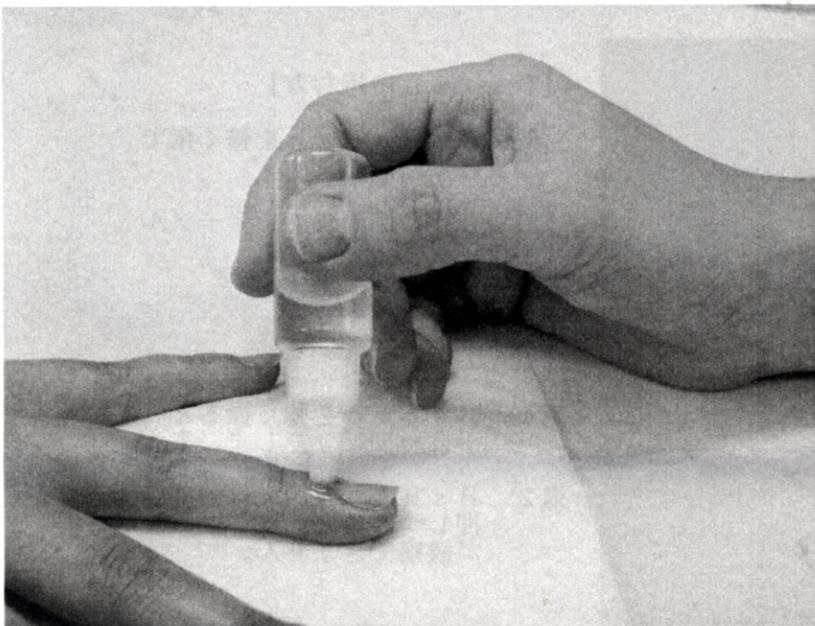
## Bscanの向き



### 【Bscanの向き】

Bscanは本体ロゴマークを観察者に向けます。

- ※1. この向きが変わると、実際のBscanの移動とテレビ画面の移動が一致しません。



### 【オイルの塗布】

オイルを被験者の爪のすぐ下の部分に塗ります。

Bscanの操作に慣れないうちは、多少多めに塗ります。

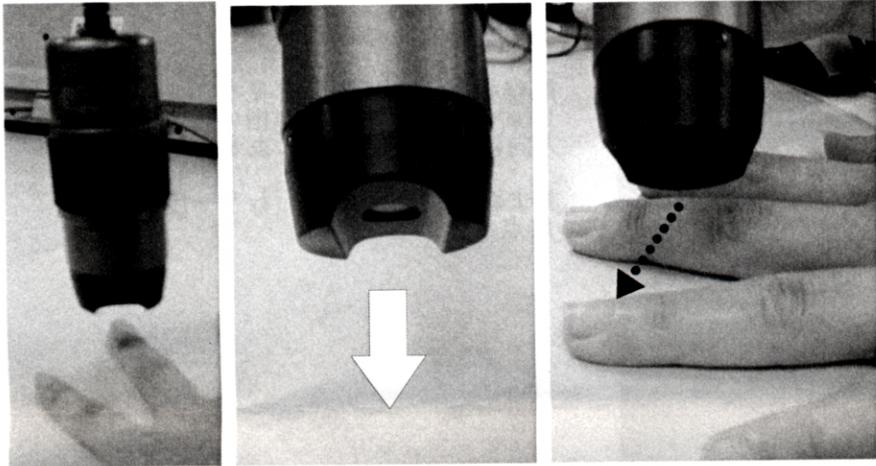
オイルの上に、付属の透明フィルムを乗せます。

- ※1. 透明フィルムは市販のもの（ショートケーキ用のフィルムやラップでも可）



操作中にBscanの向きが変わると、実際のBscanの動きとテレビ画面の動きが、連動しなくなります。

## 画像観察手順①



### 【観察の開始位置】

Bscanの先端を被験者の爪の上に軽く乗せる感じで、先端アーチ（指先ガイド）部分を指に合わせて軽く乗せます。

① Bscanロゴマークを観察者（観察する自分の方向）に向けます。

② アーチ（指先ガイド）と、被験者の方向。

③ アーチ部分は、軽くと、指に接触させます。



### 【爪の表面に焦点を合わせる】

観察者はBscanを被験者の爪の上に乗せ、もう片方の指でBscan本体中央部のピントリングをテレビ画面を見ながら左右に回します。

多少大きめにピントリングを左右に回していると、爪の表面に焦点が合う位置が見えてきますので、その位置で焦点を固定します。

※1. 爪の表面はマニキュアなどで爪を処理していない場合は、ウロコ状に見えます。



最初に爪に焦点を合わせる時は、ピントリングを左右に大胆に回します。

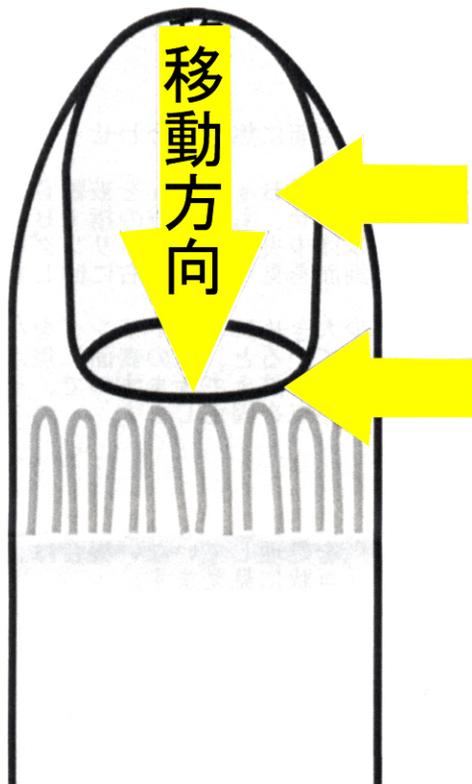
## 画像観察手順②



### 【あまかわを見つける】

観察者はテレビ画面を見ながら B s c a n を被験者の指の根もと方向に、静かに移動します。

あまかわが見えたら、もう一度焦点を合わせます。



### ① 爪で焦点を合わせ

(最初は大胆にピントリングを調整し)

### ② あまかわでもう一度焦点をあわせる

(次に小刻みにピントリングを調整します)



次に、あまかわに焦点を合わせる時は爪に合わせたピント位置から、左右に1mmくらいの感覚で小刻みにピントリングを調整します。

## 画像観察手順③



### 【血管を見つける】

あまかわに焦点を合わせたら、そのままテレビ画面を見ながら、さらにBscanを被験者の方へ移動します。

- ※1. 画面に映し出された映像は、実際には約0.5mm四方の部分です。Bscanを移動する際に、手元を見てしまうと、瞬時に他の場所へ移動してしまいます。
- ※2. 実際の操作では、観察者はもう一方の手でピントリングを操作しながら、画面の映像を微調整します。



### 【画像の固定】

観察する血管が見えたら、軽く指でささえる感じでBscanを固定します。

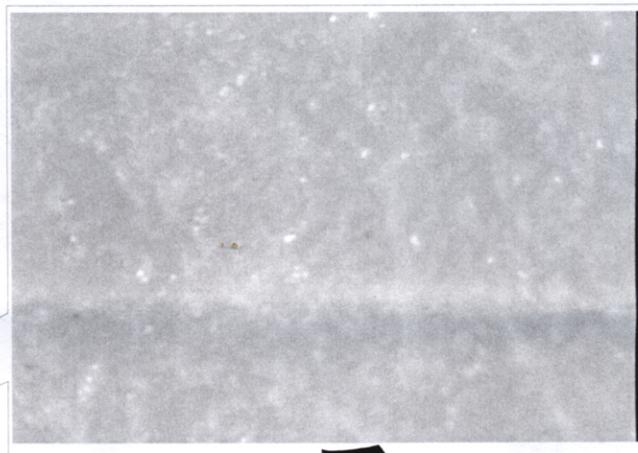
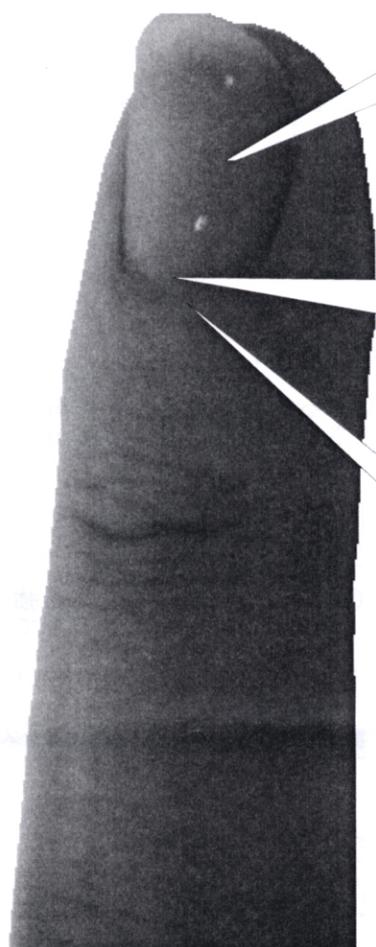
- ※1. 固定する際Bscanを強く指に押しつけると、血流が変わってしまう場合があります。(指にBscanを当てる強さはBscanの重さのみです)
- ※2. 血管の見え具合は人により様々ですので、焦点の調整は血液の流れが確認できる位置がベストです。

**※血管観察中は、指先ガイドのアーチが常に指に接触している事を確認してください。**



**血管の焦点合わせは、血管内の血流（赤血球の動き）が確認できる位置が適正です。**

観察部分の移動による画像の変化



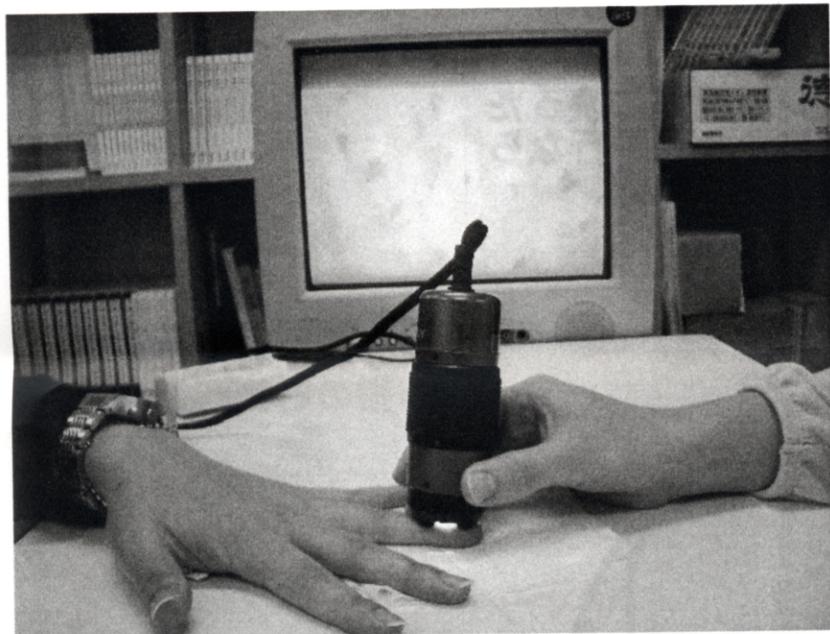
爪



あまかわ



毛細血管



【下に行きすぎた画像】

左テレビ画面は、観察位置が下に行き過ぎてしまったため、毛細血管が立ち上がった状態で見えています。その際はゆっくりとテレビ画面を見ながら上方向にBscanを移動します。

- ※1. その他、指の端に行き過ぎて血管を見失った場合は、もう一度「爪」「あまかわ」の順で、観察をやり直します。



【見えづらくなったら】

「油不足」などの理由で画面が見づらくなったら、油を補充してもう一度「爪」「あまかわ」の手順で、観察をやりなおします。

フィルム面と皮膚の間にすき間ができた場合も、見えづらくなる事があります。その際はBscan本体を、軽く前後左右に傾けてみます。それでも見えづらい場合は、最初からやり直します。



判らなくなったら  
「爪」「あまかわ」の手順で、観察を  
やり直します。

# あまかわの見え方で観察位置がわかります

